

道年金者組合ニュース

網走・札幌南・石狩の

3支部が月間目標達成

5月は46名増35名減で11名の増に！

先月のニュースで報告したとおり、石狩支部の結成があり24名が加入しました。また、札幌東支部で5名、札幌南支部で3名が加入するなど一定の成果がありました。

一方で、高齢化に伴い死亡、施設入所、体力低下による脱退、退会も多く、差し引き、11名の増にとどまりました。

若い世代60代以下が11名加入！

今回、特徴的なことは、入会者の6名が60代以下で、4月から11名が加入しました。若い人が増えており、希望の光です。



江別支部の麻雀サークル

網走支部は麻雀教室で5名加入

麻雀を覚えたいと女性中心に希望者が集まってきており、月2回、麻雀教室を行っています。この教室には組合員以外の人も参加しています。それらの方が組合加入に繋がっています。

また、支部の建物で行うので、費用が安く済むことも特徴のひとつです。江別支部でも麻雀サークルで1名が加入しています。

札幌南支部

外部に声かけ

「うたごえ」広める

2カ月に1回、支部として「うたごえ」を開催しています。5月29日にうたごえの仲間が集まって、15人で焼き肉パーティーを行い、そこに外部の人々も呼んで楽しいひとときを過ごしました。その結果、女性2名、男性1名が加入しました。

石狩支部

設立後も5名加入

歌志内市議会・雄武町議会
興部町議会

6月議会で上記3議会が年金引き上げ求める意見書を採択！

遠軽支部がオホーツク沿岸4町村議会に要請行動を行い、雄武町議会と興部町議会で、意見書が採択されました。道本部が要請した歌志内市議会でも意見書が採択されました。これで28議会が意見書を採択しました。

**6・13年金支給日
宣伝30支部が実施
年金ピラ1224枚**

天候にも恵まれ30支部から260名以上が参加しました。

十勝支部では7名が参加し、スーパの前で肉声で署名を訴えました。途中で、車と自転車の接触事故があり、救急車を呼んだら、救急対応する場面もありました。30分間で28筆の年金署名が集まりました。

北海道全体で年金署名292筆が集まりました。

年金裁判「北海道事案」最高裁で不当判決！

7月1日、最高裁判所第3小法廷は「年金引き下げ違憲訴訟」北海道訴訟団の原告を「上告棄却」した。原告は「北海道から原告3人と弁護士2人が入廷し、判決を受けました。原告の1人は「法の番人の役割を放棄した」と話していました。

北海道では2014年の不服審査請求(6,088人)を経て、2015年4月に札幌地方裁判所に提訴しました。その後、6月30日の判決で、653名の原告は「無念の思いが伝わってきます」。

判決を通じて年金問題は生活できない年金問題、女性などの年金問題、年金問題が社会問題になりました。年金問題が社会問題になりました。

年金制度は年金制度の確立をすすめるべきです。年金制度は年金制度の確立をすすめるべきです。

参院選北海道選挙区候補予定者に対する年金制度についての公開アンケート

7月の参議院選挙に向け、北海道選挙区立候補予定者に年金制度についての公開アンケートを実施しました。6月6日現在で立候補を表明し、住所が確認できた岩本剛人、高橋はるみ、勝部けんじ、宮内しおり、田中義人、のむらパターソン和孝、鈴木雅貴、オカダ美輪子の各氏にアンケート用紙を郵送またはメールしました。締切日までに3名の立候補予定者からアンケートが届きましたので公開します。

参院選北海道選挙区立候補予定者に対する年金制度についての公開アンケート結果

政 党 予定候補	立憲民主党 勝部けんじ	れいわ新撰組 のむらパターソン和孝	日本共産党 宮内しおり
-------------	-----------------------	-----------------------------	-----------------------

1. マクロ経済スライドへの対応について「①継続すべき ②廃止すべき ③その他」

回 答	②廃止すべき	②廃止すべき	②廃止すべき
理 由	「マクロ経済スライド」により、このままでは厚生年金に加入している会社員や障がい者の方を含めた全ての人の基礎年金が将来、実質価値で3割も減ってしまうことから、廃止を引き続き訴えて行きます。	年金給付水準と物価上昇との乖離を生み出すマクロ経済スライド適用は即刻終了すべきと考えます。適用積み重ねが与えている目減り額の大きさも重く受け止めています。少なくとも基礎年金への適用は優先的に迅速に終了させるべきです。	「マクロ経済スライド」によって、自公政権の13年間に公的年金は実質で8.6%も削減され、今受け取っている高齢者の年金だけでなく、現役世代が将来受け取る年金も減り続けてきました。自民、公明、立憲民主によって「年金制度改定法案」が成立しましたが、「マクロ経済スライド」は温存されたままです。今、物価高騰によって、食料品も水光熱費も何でも値上がりをしており、日々の生活に困るとの声が多く寄せられています。「マクロ経済スライド」はただちに撤廃し、物価上昇に見合う、年金の引き上げを行います。

2. 最低保障年金制度の導入について「①導入すべき ②導入すべきでない ③その他」

回 答	①導入すべき	①導入すべき	①導入すべき
理 由	年金の最低保障機能の強化、当面は低所得の高齢者の年金に一定額を上乗せ給付すべきです。高齢者世帯の多くが、生活保護世帯であり、最低保障年金を導入すべきと考えています。	特に国民年金の絶対額があまりに低いこと、保険料の支払いが困難な方も多くいらっしゃる現況に鑑み、具体的制度設計をどのようにするかという検討課題はあるものの、「最低保障年金」制度自体は必要なものと考えています。	「失われた30年」のもと、非正規雇用、低賃金で働かざるを得なかった世代が増えているもとで、低年金・無年金の問題を解決していくことは、今の高齢者にとっても現役世代にとっても重要な問題です。最低保障年金制度の実現前であっても、低年金の底上げを図るために、現行の基礎年金の受給額の2分の1を税金で負担する仕組みから、基礎年金の満額の2分の1にあたる3.4万円を国庫負担で支給するようにします。そして、最低保障年金を導入して、低年金・無年金、サラリーマン世帯の専業主婦の「第3号被保険者問題」などの課題を解決する道を開きます。

3. 年金制度の改善

①年金積立金を計画的に取り崩し給付改善、保険料引き下げに回す。(賛成には「○」、反対には「×」、その他は「△」)

回 答	○	○	○
理 由	厚生年金の積立金を活用し基礎年金部分を底上げする措置をとるべきです。	令和6年9月の厚労省報告では、年金積立金の資産額は255.6兆円と、年金総給付額の約5年分にも到達しており、生活で苦しんでいる人々のために活用されるべきものと考えます。	年金積立金は現在290兆円と、給付の5年分もたっていますが、世界でこんなにためている国はありません。これ以上ため込むのではなく、計画的に年金給付の維持・拡充に活用すべきです。

②年金支給を隔月から毎月支給する。(賛成には「○」、反対には「×」、その他は「△」)

回 答	○	○	○
理 由	年金受給者も毎月の生活を切り詰めて過ごしていることから毎月支給をすべきであると考えます。	支給が隔月となることで、月ごとの生活設計が難しいとの声を伺っています。特に生活保護を受けられている方において、そのやりくりの難しさが増しており、毎月支給に変更すべきものと考えます。	急な出費があった際にも、毎月支給の方が、家計が管理しやすくなります。

政 党 予定候補	立憲民主党 勝部けんじ	れいわ新撰組 のむらた 和孝	日本共産党 宮内しおり
-------------	-----------------------	--------------------------	-----------------------

4. 年金積立金の株式運用について「①株式運用すべき ②株式運用やめるべき ③その他」

回 答	③その他	③その他	②株式運用やめるべき
理 由	年金積立金の運用は被保険者の利益、確実性を考慮し運用割合が倍増された株への投資を減らすべきであると考えます。現在、株式運用割合が増えており、リスク管理強化の観点からも、日本の国債の割合を増やすべきであると考えます。	年金積立金の株式運用自体は多様な運用の手段の一つとしては、否定しません。しかし、ご指摘のような投資先の倫理上の問題や、リスク投資など問題があると考えています。非倫理的な投資先やハイリスク投資からは手を引くべきと考えます。	年金の積立金を株式市場に投入することは、国民の財産をリスクにさらすことになるので、きっぱりやめるべきです。ましてや、国内外の軍事企業の株を購入していることや、ガザで虐殺を行っているイスラエルの国債・同国軍事企業の株の購入は直ちにやめるべきです。

5. 年金制度改革法案の個別の内容について(賛成には「○」、反対には「×」、その他は「△」)

①厚生年金の標準報酬月額の上限引き上げ

回 答	○	○	○
理 由	所得再配分機能の強化により高所得者についても将来受け取る年金額も増え、高齢期における生活の安定を図ることから。	保険料の累進強化、応能負担度合いを高める方が望ましいと考えています。一方で、比例して給付水準まで高める必要があるか、高所得者の年金給付抑制メカニズム導入(ペンドポイントやクローバックなど)の余地がないか、についてはしっかり検討する必要があります。	高額所得者の保険料の“低すぎる上限額”を健康保険料並みに引き上げ、応分の負担を求めます。

②厚生年金保険加入者の対象拡大について

回 答	○	×	○
理 由	令和6年財政検証では、このまま何もしなければ、2057年度までに、基礎年金の給付水準が3割目減りしてしまうという結果が示され、これに対して、財政検証とあわせて行われたオプション試算では、「被用者保険の適用拡大」などを実施することにより、給付水準の目減りを抑えられることが示されました。この「被用者保険の適用拡大」は、働き方に中立的で、ライフスタイルの多様化を踏まえた制度として高齢期における生活の安定に資するものであることから。	適用拡大で年金の給付水準が上がることは好ましい側面があるものの、ぎりぎりの生活費を稼いでいる方の現状、中小企業等が置かれた厳しい経営状況からは、社会保険料の負担増をもたらさないための十分な支援策とセットとすべきです。	パート、派遣、契約社員など非正規雇用で働く人たちが厚生年金に加入する権利を保障します。同時に、中小・零細企業の社会保険料の事業主負担分の減免など、中小企業への抜本的な支援を強めます。

③遺族年金制度見直しについて

回 答	○	×	×
理 由	既に遺族厚生年金を受給している方には見直しの影響がないこと、子のない男性への給付が拡大すること、子のない女性への給付期間の見直しは20年掛けて進めること、有期給付の場合は受給額の加算があり、配慮が必要な方には給付継続の措置も創設されることなど、今回の改正はプラスの要素やさまざまな配慮措置が盛り込まれているから	中高齢期に遺族となり、再就労を図ろうとしても、低賃金、不安定雇用となりやすく、遺族年金を有期給付とする今回の変更は遺族の所得保障をする制度目的に反するものだと考えています。	今国会で行われた遺族厚生年金の削減は、遺族の生活を不安定化・困窮化させるもので反対です。

《活動日誌》 6月度

3日(火)新婦人厚別支部「年金学習会」
6日(金)第22回士別支部定期大会
11日(水)第14回常任執行委員会
13日(金)年金支給日宣伝
16-17日(月・火)中央本部定期大会
18日(水)第13回執行委員会
女性部役員会
21日(土)北海道社保協総会
29日(日)第14回芽室支部定期大会
30日(月)石狩支部「年金学習会」

《活動予定》 7月度

1日(火)最高裁北海道事案判決日
3日(木)参議院選挙公示
4日(金)白石支部女性部総会「年金学習会」
9日(水)第15回常任執行委員会
15日(火)第14回執行委員会
女性部役員会
20日(日)参議院選挙投票日
25日(金)北海道本部第38回定期大会
26日(土)第38回札幌西支部定期大会
29日(火)第21回遠軽支部定期大会

☆士別支部
6月6日
委員長 小松 池 本
書記長 宏 直 幸
☆芽室支部
6月29日
支部長 井 岩 原 佐
書記長 有 重 春

支部大会

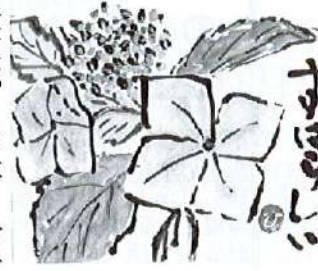
ちぎり絵

室蘭支部 菅野由紀子



絵手紙

生きること
すばらしい



苫小牧支部 中島 浩子

網走支部 山本 玲子



網走支部 高間 尚子



網走支部 鈴木 英子



江別支部 木村 豊子

ニユース見て夫は
いも怒ってる



江別支部 八重崎 道子

当別支部 相馬 ひろ子



札幌清田支部 高島 東亜子



札幌清田支部 小門 良子



札幌清田支部 平田きよみ



札幌清田支部 松田ヒデコ



札幌清田支部 鈴木照子



文芸欄

俳句

はまなす
浜茄子と彩り競う紅猿子

旭川支部

撮り鉄爺さん

麦の秋部活少年脛長し

室蘭支部

落合 敏子

夕明かり金色稲波麦の秋

室蘭支部

上野 利久

ちまちまとすり寄る野党油照

札幌東支部

北川 恭三

浜防風香りに聞こゆ波の音

網走支部

尚子

牡丹や風に負けじと向ふむく

網走支部

弘夢

うすみどり桑の芽吹きを野草茶に

札幌白石支部

福尾 弘子

すずらんの香り漂ふ朝の庭

札幌白石支部

両角 ひろ

川柳

底上げが下がり続ける年金法

十勝支部

金倉 俊嗣

米騒動昔に戻った配給制

旭川支部

中易政四郎

温暖化ソゲンコツ知らんわ石油掘れ

芽室支部

千葉 清晃

短歌

過ぎた日を語りて友は懐かしむ

青いグスベリ グミの実などを

旭川支部

ゆきんこ

ガレキから子らを見つけたきしめる

我らはこの地ガザに生きると

網走支部

宏

作品応募先 fax 011-766-8511 メール donenkin@stirus.ocn.ne.jp/

宛先 札幌市白石区菊水1条4丁目1-5-202